

根堀台

第7号



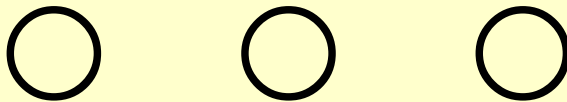
由利中学校 学校便り
平成三十年六月四日(月)

発行者 校長

総体優勝第1号 本荘由利陸上競争大会

優勝 男子共通110h

3年A組



優勝した〇〇 〇さん

三十一日(木)に行われた地区陸上競争大会において、地区総体において優勝第一号ができました。男子共通百十Mハードル競技に於いて〇〇〇〇さんがみごと優勝に輝きました。

〇〇〇〇さんは、予選もトップ通過でしたが、学校での練習では、フルで走ったのが三回だけで、とても自信が無いと話していました。が、決勝では、他を大きく引き離しての見事な優勝でした。本当に優勝おめでとうございました。当日、水林陸上競技場では、由利中のテントが一番活気があり、チーム由利中として動きが多々見られ嬉しく思いました。なお、その他にも、多数の入賞者が出ていますが、後日発行されます、部活動後援会報にて、ご確認ください。入賞した選手もそうでない選手も全力をだしきりました。本当に頑張りました。

由利本荘市教育委員会訪問

六月一日(金)には、由利本荘市教育委員会訪問があり、教育長の〇〇〇〇〇〇様はじめ教育委員三名。学校教育課長、指導主事、由利教育学習課長の全七名の学校訪問がありました。教育委員会訪問は、春には、市内二十四の中学校全部を訪問するもので、本校は、中学校では、最初の訪問校です。冒頭教育長様より、「由利中が今年度の中学校の規準になる。」と述べられ、強いプレッシャーを感じながら授業一巡がスタートしました。各学級とも、整然と授業が展開されていて安心しました。以下は、教育委員の皆様のコメントです。

【〇〇〇〇〇教育長職務代理者】
英語教育の小学校との交流はありがたいと思います。大儀とは思いますが、さらなる活潑な交流によつて更に効果が上がる事を期待しております。中学生の五校時、教室の全生徒の課題への集中度が大変高く普段からの授業の質の高さを感じさせられました。
教師の発問が適確である事もあるが、生徒の積極的な挙手による活潑な発表が見られました。

【〇〇〇〇〇委員】
目指す学校像をしっかりとかけ学校全体が同じ方向に向かって取り組まれている様子がよく分かりました。
積極的に意見を発表する生徒さんがたくさん見られました。挙手の仕方、発表する態度もしっかりとできていて学習規律がきっちり身に付いていると感じました。

【〇〇〇〇〇委員】
地域との関わりをとて、も大事にし運営協議会を活用しています。認知症サポーター養成講座の試

みはとても良い着眼と
思います。ふるさと愛の育
みに熱心に取り組んでお
られると思います。

全学年、全教室で授業
に全員が集中し、取り組
んでいました。発表も積極
的でした。いじめ対策は、
どんなことでも報告し、情
報として共有することは
基本中の基本であると思
います。続けていただきたい
と思います。

最後に全体会で、教育
長様より全体講評があり
ました。

「まだ六月なのに、先生
方の高い同僚性を感じた。
素敵な学校、校舎環境、
生徒に対する配慮が優れ
ている。先生方も頑張っ
ている。子どもと一体とな
っている。全ての授業で以
前に増してチーム由利中と
してのダッシュが図られて
いる。」

以上学校訪問での指導
でした。良いとされたところ
を更に伸ばして最強の
由利中にしていきたいと
思います。

私はメタセコイア

本校の玄関脇にて3階の高さで切られているメタセコイアとは、どんな樹木かご存知ですか？

メタセコイアが“生きた化石”と言われるのはなぜでしょうか。それには、次のような経緯があるのです。1940年頃、京都帝国大学の三木茂博士は近畿地方の化石植物を研究されていました。発掘された化石の中で、これまでアメリカに生育しているスギ科のセコイアやヌマスギと同定されていた化石が、いくつかの点で特徴が異なっていることに気づき、1941年、別の種類としてメタセコイアという新属を設立されました。博士は、特徴から、この植物が冬に葉を落とす落葉性の針葉樹であることを指摘され、また、ある時期の地層からは多くの化石が産出するのにも、その後は産出しなくなることから、多分絶滅したのであろうと推定されました。

ところが、1945年に中国の内陸部にある四川省と湖北省の境界付近にある利川市で生きたメタセコイアの自然林が発見されたのです。絶滅したと考えられていた植物が現在も存在していたこと、また、出現してから現在まで形態も生態も大きく変わっていないことから一躍有名になりました。発見直後のメタセコイアは大変貴重な植物で苗を手に入れることは困難でした。日本では、皇居に1949年2本のメタセコイアが植えられたのが最初です。その後、保存会が結成され、メタセコイアは実生でも挿し木でも良く増殖するため、全国各地に拡がりました。生長が早く、樹形も円錐形で美しく、高さ(樹高)は20cm、幹の直径は50cmにもなります。原産地では高さ30mにもなります。化石植物であること、生長が早く、美しいことから、公園樹や街路樹として植えられました。また、植林されたこともあります。用材としての利用価値は低く、現在では行われていません。でも、本校のメタセコイアは、校舎新築からずっと校舎の様子を眺めてきました。「生きた化石」のメタセコイアが、実は由利中を一番知っているのかも。以後、このコラムでは「由利中の昔話」を掲載します。

校長の独り言

五月二十八日から三十一日まで、「全国へき地教育連盟総会」に参加するために東京の代々木にあるオリンピック記念センターに出かけていました。私は、平成二十九年度の秋

田県へき地教育研究会会長、東北ブロックへき地教育研究会会長、全国へき地教育研究会副会長(理事)という役(厄)についていました。これは、単なる巡り合わせの役でしたが、本当に大変な一年でした。全国は、七ブロッ

クに分けられていて会長一名と七人の副会長計八名の理事で構成される会です。年六回の理事会が行われ、先日の会が六回目の会議でした。通常は、理事は2年の任期ですが、私は、由利中に転勤になり、へき地校勤務ではなく

なつたので、脱会となりま
した。

全国へき地連盟では、
毎年全国大会を行って
いますが、昨年度は、高知
県大会でした。私は、四万
十市の担当で、中筋小・中
学校を会場に分散会が行
われました。私は、主催者
代表というところで、全体
会では、一番最初に壇上
に上がって挨拶しなければ
なりません。(シナリオを
読めばいいのですが)私の
隣には、四万十市の教育
長、来賓席には市長が座っ
ています。さすがに、緊張
しました。かみかみながら
も挨拶を終えて席に戻り
ました。次は、市長さんの
挨拶になりました。そこで
驚きの出来事がありました。
た。何とステージに上がる
前にスリッパを脱いで壇上
に上がったのです。後から
聞いたのですが、ステージ
には国旗、市旗が掲げら
れ、いわば神聖な場所なの
だそうです。知らなかった
とはいえ、とても恥ずかし
いような気持ちになりました。
続々、